

井原市公共交通会議

平成22年3月11日設置



概要

市財政への負担軽減や住民ニーズに配慮しながら、将来にわたって地域住民に利用され、持続可能な公共交通体系の構築を図るため、利用実態や住民ニーズ等を詳細に調査し、本市公共交通体系の課題を整理するとともに、体系の集約化や機能分担を検討しながら、今後の将来像、基本方針及び具体的な行動計画を策定する。

また、地域の交通に関わるあらゆる立場の方々や新たな担い手と連携しながら、地域全体で計画的・継続的に取り組みを進める。

○地域公共交通の現況

- ・鉄道：鉄道井原線（市内駅数4駅）
- ・4条バス路線：民間3事業者（24系統）
- ・コミュニティバス：（運行地域：井原地区、8系統）
- ・市町村有償運送：（運行地域：芳井、美星地区、計5系統）
- ・その他：デマンド型乗合タクシー（H22モデル運行：芳井地区内3エリア）
福祉有償運送（運行地域：美星地区）、スクール（一般混乗）

○地域公共交通の課題

- ・市内には「公共交通空白地」が点在しており、市民が平等にそして容易に移動できる公共交通体系の構築は市政にとって最重要課題となっている。
- ・今後、公共交通体系を維持するための市の負担拡大が危惧され、将来的な体系維持が極めて困難となっている。

○調査の主な内容

- ・現況交通利用実態調査
- ・公共交通利用者ニーズ把握・アンケート調査
- ・地域住民との意見交換

○地域公共交通総合連携計画の構想（予定）

住民・利用者のニーズを的確に把握しながら、市内の公共交通体系の課題を抽出し、データを生かしながら、本市の実情に沿った基本方針、具体的な行動プランを策定する。

さらには、事業の評価については、長期的な視点を取り入れていく。

